

大会名 Competition	第36回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2023 年 5 月 5 日 16 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA <b>能代科技</b>	17 1st 24 19 2nd 22 18 3rd 18 24 4th 19 0 T	チームB <b>中部大第一</b>
78 ●		83 ○

主審:Crew chief  
佐藤 匠 秋田  
副審:Umpire  
田中 直幸 秋田  
水木 順仁 秋田  
テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代高校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	中野 珠斗	cap	21	1	8	2	2	4	×	佐渡 樹也	cap	20	0	10	0	0
5	×	関口 創介		9	1	3	0	3	5	×	外山 颯紀		14	2	4	0	3
6	×	大高 琉翔		7	1	1	2	0	6		西村 謙慎		-	-	-	-	0
7	×	伊藤 賑一		2	0	1	0	3	7	×	清水 祥敬		21	7	0	0	3
8	／	佐藤 楓生		0	0	0	0	2	8	×	ンバイエ ムハメド		18	0	8	2	2
9	×	小田嶋 柗斗		31	5	6	4	2	9	／	前田 凌侑		6	0	3	0	0
10		山本 倭也		-	-	-	-	0	10	×	アグイ 要哉		0	0	0	0	1
11	／	岸 真矢		0	0	0	0	1	11		三浦 悠詩		-	-	-	-	0
12		山本 威吹		-	-	-	-	0	12		高橋 昇霖		-	-	-	-	0
13		小玉 羽竜		-	-	-	-	0	13	／	渡辺 朋樹		3	1	0	0	1
14	／	見上 匠		8	0	3	2	0	14	／	遠山 瑞樹		1	0	0	1	3
15		山崎 七星		-	-	-	-	0	15		トゥレ サリウ		-	-	-	-	0
16		畠山 悠仁		-	-	-	-	0	16		高岡 春吾		-	-	-	-	0
17		宮田 蒼羽		-	-	-	-	0	17		鶴澤 潤之介		-	-	-	-	0
18		清水 祐清		-	-	-	-	0	18		住友 笑恵人		-	-	-	-	0
コーチ		小松 元						0	コーチ		常田 健						0
アコーチ		長谷川 聡						0	アコーチ		西村 彩						0
合計				78	8	22	10	13	合計				83	10	25	3	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

### Score ranking[Team]

1	31	39.74%	小田嶋 柗斗
2	21	26.92%	中野 珠斗
3	9	11.54%	関口 創介

1	21	25.30%	清水 祥敬
2	20	24.10%	佐渡 樹也
3	18	21.69%	ンバイエ ムハメド

### Score ranking[Game]

1	31	小田嶋 柗斗	能代科技	2	21	中野 珠斗	能代科技	3	21	清水 祥敬	中部大第一
---	----	--------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	-------

能代カップ最終戦は共に3勝1敗の能代科技と中部大第一の対決。

1Q、能代科技が#7伊藤の鋭いアシストから#5関口がゴール下を決め先制すると、中部大第一#7清水、能代科技#9小田嶋が3Pを決め合い会場が沸く。能代科技はインサイドのディフェンスを固め中部大第一の高さに対抗するが、外角のシュートが決まらず伸び悩む。中部大第一は#8ンバイエがリバウンドで存在感を見せ始めると、#4佐渡のゴール下などでリードを広げ、17-24で1Q終了。

2Q、高さを警戒する能代科技ディフェンスに対し、中部大第一#4佐渡が素早く切り込む活躍で20-33とリードを広げる。能代科技はタイムアウトを取りディフェンスを修正、スティールを連発するもシュートが決まらない。しかし懸命にボールを追う能代科技は徐々にリズムを掴み、#4中野のステップバック3Pや#8佐藤らの連続速攻で6点差まで詰める。中部大第一は#7清水の3Pと#4佐渡のドライブで押し戻し36-46で折り返し。

3Q、両チームともタイトなディフェンスで得点を許さず、開始3分半で2-3とロースコアな展開。中盤、中部大第一#7清水、能代科技#5関口が3Pを決めるがその後も緊張が続く。残り2分、#9小田嶋が3Pから速攻2本の連続得点を決めると流れは能代科技へ。#6大高がアリウプを決めると中部大第一はタイムアウト。最後は中部大第一#13川井が落ちて3Pを決め、54-64の10点差に戻した。

4Q、能代科技は激しいディフェンスで高さに対抗、スティールから速攻も出し流れを作る。能代科技は#14見上、#6大高がフリースローを決め62-66と4点差まで詰める。リバウンドシュートで得点する中部大第一に対し能代科技は#6大高と#4中野の3P、#14見上の速攻で一気に追いつき、残り4分半で70-70の同点に。中部大第一は能代科技のディフェンスに苦しみつつも、#7清水の連続3Pで突き放しにかかる。能代科技は#9小田嶋、#5関口の速攻で追いつくも届かず、78-83で中部大第一が逃げ切り準優勝を決めた。

文責 【 石井 一生 】